令和 3(2021)年度活動予算概要

予算概況

昨年度、2020 年度は、新型コロナウィルス、COVID-19 の蔓延が治まらない状況下、学会活動を減縮し、影響の回避を大前提とし、部分的な実施可能な活動に集中した。2021 年度も未だ状況の好転は無く、事態は深刻化を深めている。このような状況下だが、2021 年度は学会本来の活動の再開に尽力する。

具体的には、2021 年度は、昨年経験した（～経験せざるを得なかった）Web 環境を介した情報発信スキルを駆使し、減縮した学会活動の復活を促進する。ただし、未だ不確定要素が多いため、これらについては「a)開催を模索するが予算的には「0」」の扱いとし、個々の事例ごとの個別の収支を確実に把握し収益を確保してゆく。

経常収入の会費収入は、退会会員の抑止や新たな入会者の勧誘に務め、継続して維持から微増を目指す。併せて未納入者への会員継続と会費納入の働きかけ（特に学生会員）を強化する（23,851 千円)。

研究･教育事業は、研究発表会を岩手県盛岡市（アイーナ／いわて県民情報交流センター）で計画した。新型コロナウィルスの感染状況を睨みながら、開催態様については今後も検討を続け、学会ホームページや会員への個別 e-メールなどを介して逐次情報を発信する(予算的には現地開催を前提に 2,800 千円)。2021 プロセス安全シンポジウムの合同開催（3,000 千円）を考慮に入れ、研究･教育収入計 5,800 千円。

普及及び啓発事業（受託事業を除く）について、2020 年度は、対面集会の態様が不可避な安全工学実験講座、安全工学教育セミナーは中止せざるを得ず、安全工学地域セミナー、災害事例研究会、安全管理の最新動向講習会は実施する事が出来なかった。安全工学セミナーは Web 開催の態様で全４講座を実施し、聴講者数も計 147 名に挙がった（昨年比 111%)。周辺学協会への情宣に務めたこともだが、背景には、Web 開催の態様が聴講者にとって、旅費交通費の節約、拘束時間の短縮化、職場からの離脱（時間･距離）の減縮、などの利点があることが窺えた。2021 年度は、実施できなかった活動について個別の収益を確保しながら、復活を模索する（11,054 千円)。

その他収入 50 千円で、収入の部合計は、41,106 千円となる。経常費用として、直近の 2018～2020 年度予算を参考とした。

事業に伴う支出は、対面集会の態様を前提に、Web 化も一部念頭に、計上した（17,723 千円／詳細は「予算計算書」参照)。

2020 年度の人件費は、おおよそ実質予算通りに推移し、2021 年度も大きな変化はない（17,449 千円)。

事業経費が 17,723 千円、人件費 17,449 千円、その他管理費 5,884 千円で、当期支出計 41,056 千円となり、当期の正味財産増減は 50 千円の微増を見込む。

新型コロナウィルスの蔓延のもと、政府の緊急事態宣言が繰り返し発出されるなか、学会本来の活動を取り戻すべく全力を尽くして行く。

2021年度予算書

令和03年4月1日から令和04年3月31日まで
特定非営利活動法人　安全工学会

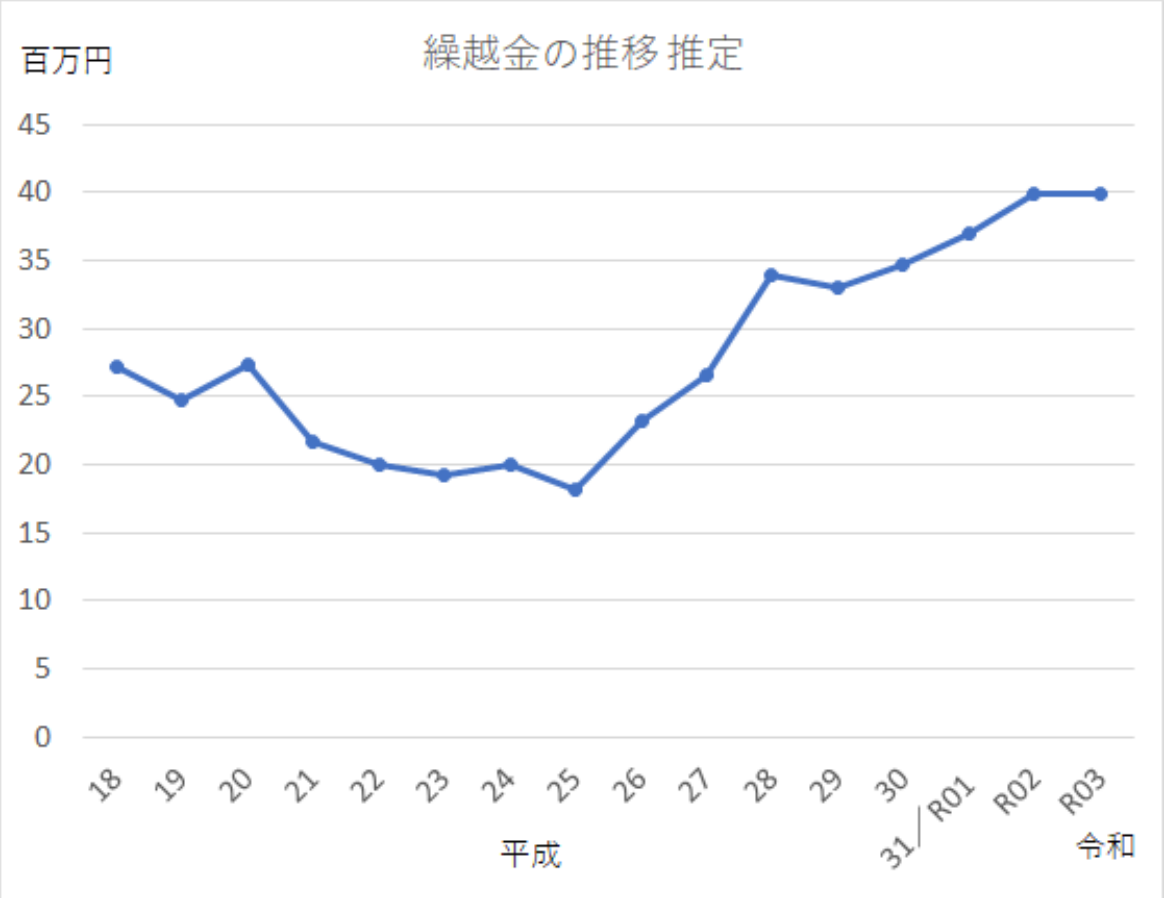
000　一般会計

2021.04.16.

科目	2018年度 実績/¥	2019年度 実績/¥	2020年度 予算・実績 予算/¥	2020年度 予算・実績 実績/¥	2021年度 予算/¥	備考：
【収入の部】						
会費収入	23,995,200	23,928,000	23,928,000	23,851,200	**23,851,200**	
維持会員会費	8,400,000	8,400,000	8,400,000	8,400,000	**8,400,000**	400,000×21社
賛助会員会費	10,200,000	10,200,000	10,200,000	10,200,000	**10,200,000**	150,000×68口（67社）
普通会員会費	5,155,200	5,049,600	5,049,600	5,011,200	**5,011,200**	9,600×522人 ┐維持～増
学生会員会費	182,400	187,200	187,200	129,600	**129,600**	4,800×27人 ┘
シニア会員会費	57,600	91,200	91,200	110,400	**110,400**	4,800×23人
事業収入	24,945,611	23,120,436	18,413,180	13,884,081	**16,904,220**	
研究・教育事業	7,008,500	9,293,500	6,958,500	3,178,000	**5,800,000**	
研究発表会参加費	2,831,500	2,848,500	2,758,500	1,779,000	**2,800,000**	現地開催、展示協賛従来ベース（助成金込み）
PSS参加費	4,177,000	6,445,000	4,200,000	1,399,000	**3,000,000**	Webベース、独立実施、2日間開催
普及啓発事業（受託外）	12,537,111	13,826,936	10,854,680	10,706,081	**11,054,220**	
安全工学ｾﾐﾅｰ	5,899,440	7,569,000	5,050,400	7,703,300	**6,734,220**	2018,2019実績の平均
安全工学地域セミナー		1,197,000	371,520	未実施	**0**	「未実施」：Web開催がベースだと「地域」の意味が希薄に
安全管理の最新動向講習会	1,421,000	812,520	981,560	未実施	**1,400,000**	2018実績並み
安全工学実験講座	1,127,520	1,365,120		未実施	**0**	a)
災害事例研究会	574,452		575,000	未実施	**0**	a)
支援セミナー	213,032	77,760	213,000	182,537	**180,000**	b)
教育セミナー	1,031,400		1,031,400	未実施	**0**	a)
図書販売	152,267	548,955	550,000	266,346	**250,000**	b)
年間購読料	843,600	927,481	839,800	991,298	**990,000**	b)
広告料収入	1,274,400	1,329,100	1,242,000	1,562,600	**1,500,000**	b)
受託事業	5,400,000		0	0	**0**	
経済産業省						
その他	5,400,000					
保安力向上センター業務受託			600,000		**50,000**	契約改定による案件毎の作業請負化
会員負担金	204,120		64,800	0	**0**	
研修会	204,120		64,800	未実施	**0**	a)
寄付金		1,376,000		452,195	**0**	
預金利息	381	418	500	484	**500**	
雑収入	1,715,547	2,306,527	640,000	317,633	**300,000**	2020実績並みを目指す（保安力向上CTV186,313を含む）
当期収入合計(A)	50,860,859	50,731,381	42,446,480	38,505,593	**41,105,920**	
前期繰越収支差額	32,992,171	34,748,704	36,996,299	36,996,299	**39,867,830**	
収入合計(B)	83,853,030	85,480,085	79,442,779	75,501,892	**80,973,750**	
【支出の部】						
事業費	24,117,493	22,468,607	18,663,489	10,619,335	**17,722,920**	
研究・教育事業	7,299,566	10,266,270	6,377,726	2,448,870	**5,651,518**	
安全工学研究発表会	3,053,353	2,612,792	1,897,726	1,988,758	**2,600,000**	2019年度目標
ﾌﾟﾛｾｽ安全ｼﾝﾎﾟ	3,948,802	7,434,946	4,000,000	436,192	**2,800,000**	Webベース、独立実施、2日間開催
安全工学ｼﾝﾎﾟ実	31,052	41,856	30,000	23,920	**30,000**	
学術委員会、研究会、WG、他	266,359	176,676	450,000		**221,518**	2018,2019実績の平均
普及啓発事業費（受託外）	11,294,101	10,829,661	11,419,039	7,287,417	**10,855,190**	
会誌発行	5,561,819	5,718,115	5,682,039	4,755,517	**5,639,967**	2018,2019実績の平均
販売図書費	62,847	279,998	300,000	129,166	**157,337**	2018～2020実績の平均
安全工学ｾﾐﾅｰ	1,997,024	2,537,109	2,700,000	2,267,078	**2,267,070**	2018～2020実績の平均
安全工学地域セミナー				未実施	**0**	「未実施」：Web開催がベースだと「地域」の意味が希薄に
安全管理の最新動向講習会	1,645,609	1,767,791	600,000	未実施	**1,706,700**	2018,2019実績の平均
安全工学実験講座				未実施	**0**	a)
災害事例研究会	212,196	7,171	212,000	未実施	**0**	a)
支援セミナー	223,860	60,000	334,000	134,116	**134,116**	b)
通信運搬費				472		
諸謝金				133,644		
教育セミナー	922,453	16,131	923,000	未実施	**0**	a)
編集委員会、普及委員会	339,171	354,955	339,000	1,540	**350,000**	Webが主だが、現場開催にも対応
他委員会	223,003	71,014	223,000		**500,000**	新規研究会立ち上げを睨む
事業所長懇談会	106,119	17,377	106,000		**100,000**	石化協事業として一段落し新たな展開模索
普及啓発事業費（受託）	4,637,040	5,238	0		**0**	
調査研究及情報	185,460	654,059	164,724	216,615	**500,220**	b)
研究奨励・表彰	206,733	178,467	207,000	160,441	**210,000**	2020年度予算並み
諸団体連携協力	494,593	534,912	495,000	505,992	**505,992**	b)
管理費	24,986,833	26,015,179	23,919,820	25,014,727	**23,333,247**	
人件費	17,677,758	20,164,255	17,548,783	19,539,073	**17,448,938**	
給与・賞与	14,176,474	14,529,211	13,800,171	10,681,990	**10,728,457**	2020年度実績+規定昇級
通勤定期代	1,245,526	1,419,612	1,289,729	954,240	**954,240**	b)
ﾊﾟｰﾄ給与・賞与				3,234,294	**3,248,363**	2020年度実績+規定昇級
ﾊﾟｰﾄ通勤費				437,520	**437,520**	b)
福利厚生費	2,255,758	2,221,422	2,458,883	2,080,358	**2,080,358**	b)
退職金繰入金		1,994,010	0	2,150,671	**0**	
一般管理費	7,309,075	5,850,924	6,371,037	5,475,654	**5,884,309**	
研修会	215,487	0	21,389		**21,389**	2020年度予算並み
事務用品費	19,705	6,325	20,370	1,639	**9,223**	c)
一般会議費	395,760	422,530	403,333	16,831	**278,374**	c)
旅費交通費	236,258	168,260	240,370	42,966	**149,161**	c)
通信運搬費	627,146	359,585	1,018,519	183,626	**390,119**	c)
消耗品費				12,944	**4,315**	c)
印刷製本費 8%	179,440	195,472	182,315	39,096	**138,003**	c)
印刷製本費 10%				286,610	**95,537**	c)
共益費・光熱費	502,445	499,900	502,000	481,920	**494,755**	c)
賃借料	1,357,704	1,372,376	1,382,847	1,382,856	**1,370,979**	c)
事務所管理費他（ﾘｰｽ・ﾚﾝﾀﾙ料 8%,10%、他）	1,097,773	1,063,424	1,102,000	1,109,376	**1,090,191**	c)
諸謝金		22,274	22,686		**7,425**	c)
ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ料	324,000	324,000	330,000	330,000	**326,000**	c)
租税公課	2,296,998	787,800	1,037,507	1,005,700	**896,750**	2019～2020実績の平均
OA機器管理費				309,351	**309,351**	b)
清掃管理費				211,752	**211,752**	b)
振替手数料	30,140	28,370	30,556	24,952	**24,952**	b)
アドバイザリーボードなど			50,926		**30,000**	アドバイザリーボード見直中
雑費 8%	26,219	600,608	26,219	19,272	**19,272**	b)
雑費 10%				16,763	**16,763**	b)
当期支出合計(C)	49,104,326	48,483,786	42,583,309	35,634,062	**41,056,167**	
当期収支差額(A)-(C)	1,756,533	2,247,595	-136,829	2,871,531	**49,753**	
次期繰越収支差額(B)-(C)	34,748,704	36,996,299	36,859,470	39,867,830	**39,917,583**	

a)：開催を模索するが予算的には「0」
b)：2020実績並みを目指す
c)：2018～2020実績の平均

PCA PC01


繰越金の推移 推定
百万円
45
40
35
30
25
20
15
10
5
0
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31／R01
R02
R03
平成
令和

六つの論点・要点

- 教育
- **Visionの見直&設定の仕組**
- **研究会・研究部会の企画**
- **防災と安全工学**
- **化学プロセス安全**

- **学会収支（社会貢献）**

四つの目標

- **AI・IoT、防災と予測、**
人間行動、CSO

→会誌、 研究発表会OS、PD、WS

2019, 2020(COVID-19による活動減縮)

→将来構想研究会
→プロセス安全管理手法研究会
→産業防災研究会
→プロセス安全
シンポジウム開催
→周辺学協会との連携

2021年度の活動計画

会議体などからの論点・要点

VisionとMission
- 10年後の社会とは（調査）
- 学会の10年後のVisionとは
- Visionを踏まえたMissionとは
- Missionを実行するStrategyは

若手将来構想委員会

調和 & 優先順位

MissionとStrategy
- マイルストーンの検討
  - ・重要度と難度（実現可能性）
  - ・優先順位
- 仕組みと組織
- 時間軸の組み入れ
- Strategyと実行

研究部会・研究会、他

企画委員会・学術委員会
編集委員会
総務委員会

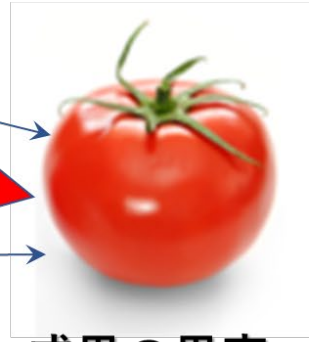
普及委員会

学術委員会

Top Down

2021

2030



成果の果実
（社会への還元）

学会員の方々から湧き出るテーマの “芽”

安全工学会　会員の方々

Bottom U p